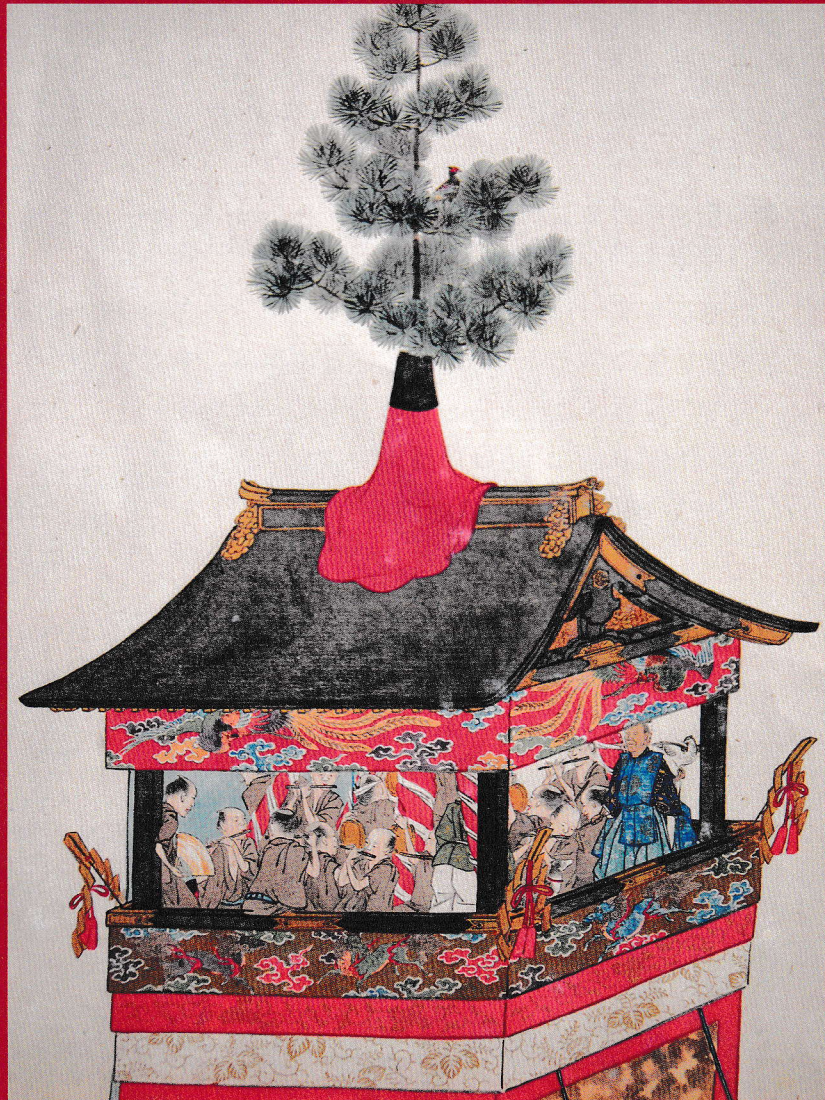


鷹山を復興し、都大路を再び  
巡行するための寄付金募集



横山華山「祇園祭礼図巻」上巻・部分 個人蔵

祇園祭「鷹山復興事業」ご支援のお願い

鷹山



2022  
RECONSTRUCTION  
KYOTO GIONMATSURI  
“TAKAYAMA”

# 祇園祭最後の曳山

## 鷹山の復興にご協力ください。

### 【鷹山について】

応仁の乱以前から後祭りに巡行していたお囃子付きの曳山

です。 応仁の乱、宝永の大火、天明の大火により焼失す

るも、不死鳥のごとく蘇り、復興してまいりました。

文政9年（1826）の巡行で大雨により大きく損傷、

翌年から加列しなくなりました。

その後、禁門の変で山自体が焼失し、

残された御神体をお飾りする居祭を町家等で

続けてきました。

令和元年に唐櫃にて193年ぶりに巡行に

参加、令和4年（2022）に山を復興して本格

巡行の参加を目指して邁進しています。



往時の鷹山（復原図）

作図 中川未子（よろずでざいん）

# 放鷹 ほうよう

■編集発行

公益財団法人 鷹山保存会  
京都市中京区三条通新町東入  
衣棚町 41 番地

■発行日：令和2年3月16日

題字：池田恭子



屋台での囃子演奏風景



唐櫃には八坂神社の祭神をしたための  
掛け軸を収める

## 唐櫃巡行のご報告

2019年7月24日193年ぶりに唐櫃で巡行に参加させていただきました。



市役所前の鬮改(くじあらため)にて、  
奉行(京都市長)へのご挨拶



四条通での集合写真



公益財団法人 鷹山保存会  
理事長 山田 純司

### ～初の唐櫃巡行を終えて～

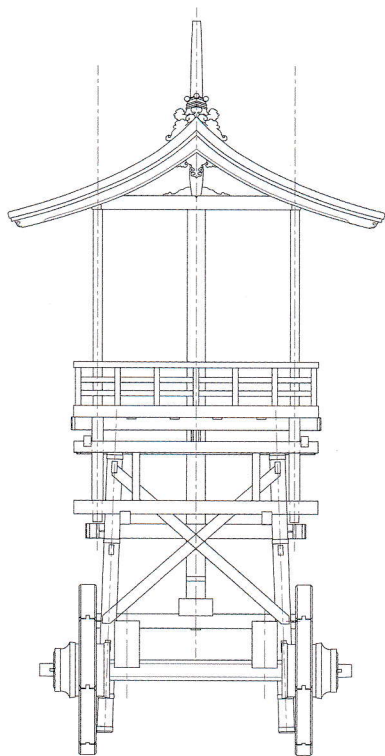
鷹山は文政9年(1826年)の巡行を最後に休み山となっていました。昨年、唐櫃にて巡行復帰しました。193年の眠りから覚めて、鷹が空へ放たれた思いです。

山の復興による本格巡行で参加を2022年と宣言させて頂きました。ご神体のみしか残っていない鷹山復興には、多く方のお力と多大な資金が必要です。鷹山は課題を一つクリアーしながら、邁進してまいります皆様のご支援を何卒よろしくお願い致します。

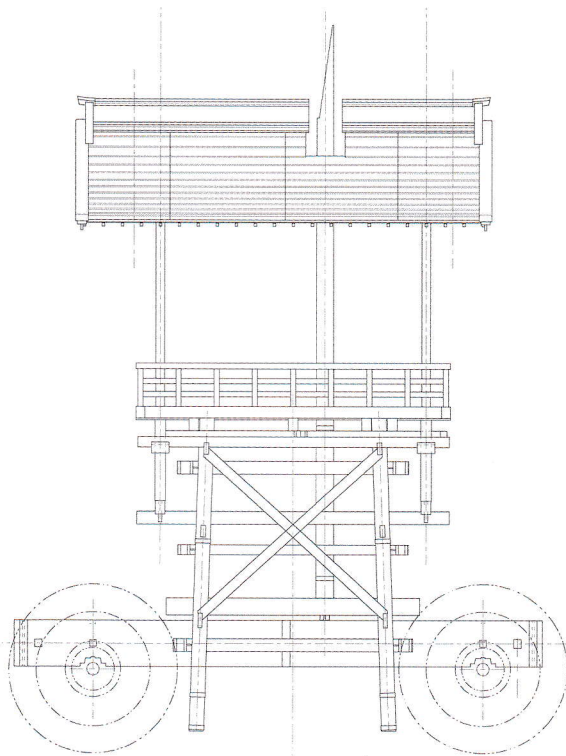
## 本巡行に向けて

令和元年10月、祇園祭山鉦装飾品等審議会にて鷹山施工計画図案が承認されました。平成30年11月より鷹山復元検討会を定期的に行い、今年の祇園祭期間中には各山鉦の実測調査をさせていただき、令和元年9月に施工計画図案が完成しました。

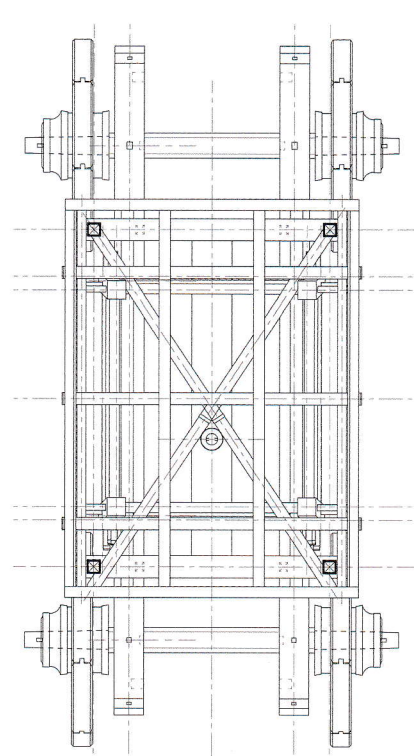
これにより、鷹山の全体像が決定しました。



<正面>



<右側面>



<舞台床組までの平面>

### ～大工方からのご挨拶～



大工方棟梁 池田 有爾

舞台・屋根部の詳細なデザインと納まり図が完成すれば、いよいよ各部材を拾い出し、材料の選定に入り、鷹山のパーツがそろえば大工の出番となります。まずは、菊水鉦から譲り受けた櫓(やぐら)、昨年放下鉦よりいただいた石持(いしもち)を修繕します。

船鉦からいただいた車輪は一度解体し、悪い部分を取り替え、組み直さなければなりません。構造部が修繕できると、舞台より上の新設部に取り掛かる予定です。木造住宅の屋根は、飛ばないように、壊れないようにしっかりと組み上げ固定しますが、鷹山はそうはいきません。毎年、組み立てる、解体する…の繰り返し。固めることができません。

実は、これは大工にはなかなかの難題です。令和3年5月には木部組み立ての完成を目指しています。各部材を提供していただいた御町内、組立・縄絡み・巡行等の技術をお教えいただいた各大工方・作事方・車方、鷹山を支えている御町内・保存会から囃子方とその家族・ボランティア、再建のために御寄付いただいた皆様…、全員の夢と期待を1年と少しかけ、鷹山という形にしっかりと造りあげていきたいと想います。

# 【胴懸のデザインのご紹介】



往時の鷹山（復原図）  
作図 中川未子（よろずでざいん）

左胴懸は、16世紀末にペルシャのカシャンで制作された絨毯のデザインです。

右胴懸は、19世紀のガシュガイという遊牧民の絨毯のデザインです。



<左胴懸イメージ>



<右胴懸イメージ>

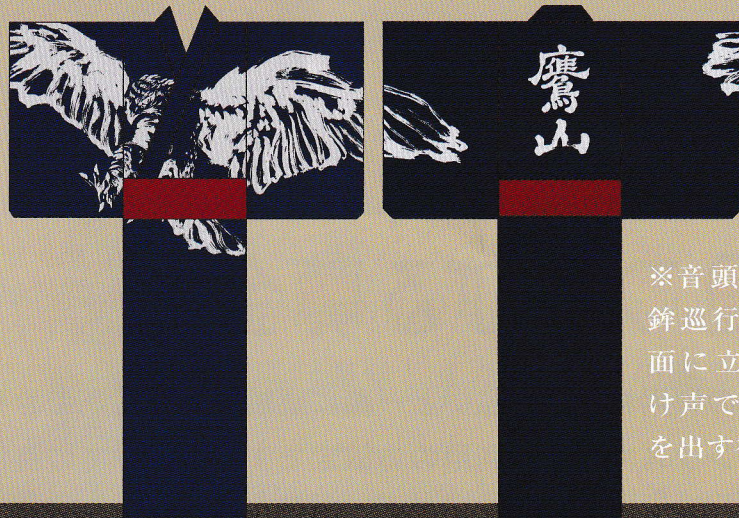
前号の放鷹でご紹介しました前懸・後懸と共に、2年後の後祭でお披露目させていただきます。

## 【新デザインのご紹介】

●ちまきの巻き紙の新デザイン



●音頭取りの衣装デザイン



※音頭取りとは、山鉦巡行の際に山の前面に立ち、扇子と掛け声で曳き子に合図を出す役割

これらをデザインして下さった、京都市立芸術大学染織専攻3回生の堀切美希さんからコメントをいただきました。

「力強い翼と鋭い眼をもって大空を飛ばたく鷹の生命や逞しさを運筆に託し、復興の未来を切り拓く鷹山を願ってデザインしました。」